

宮城県色麻町

持続可能な未来をつくる、色麻のいま。

2022.02.01

Vol.

5

February, 2022

第5号
隔月1日発行

しかま支え合い 情報誌

特集

困ったら俺んどこに來い! RYO

頼まれたら

何でもとにかくやってみる
人に生かされているIn
花川沢口

HANAKAWASAWAGUCHI



近所の倒木を伐採撤去する阿部さん。チェーンソーさばきはお手のもの。



↑子どもの頃から続けている薪割り。まさかり(斧)も軽々と。

↓阿部さん手製のイス。中身がくり抜かれてとても軽い。

必要に迫られて
始めた伐採作業

宮城県色麻町の西部、自衛隊王城寺原演習場近くにある花川沢口地区に、阿部政司さん（六九）の家があります。

「おーい、こっちだ」自宅にお邪魔すると、ビニールハウスで作った工房に案内されました。工房の中には、たくさん丸太や端材、加工道具が所狭しと並んでいきます。「切ってあげた木を丸太にして、ここで加工してんだ」。色麻町は風が強い地域で、強風が吹

くと、たまにイグネ（防風林）の木が倒れることもあります。阿部さん

は、同地区の、特に一人暮らしの高齢者等の家で倒木があると、その伐採撤去作業を行っています。「最初は自分の家の木を、市販のチェーンソーで切ってたんだよ。それしたら、みんなから頼まれるようになった。それが始まり」と話します。

独学で得た技術
町や地域のために

撤去した木を利用して、イスやスウェーデントーチを製作しており、イスは色麻町のふるさと納税の返礼品にもなっています。阿部さんは元々農家で、林業や木材加工の仕事に就いたことはなく、全て独学で身に着けたそうです。「薪割りは子ども頃からやってた。孫にもやらせてみるんだけど、さっぱりできない。部活で何を鍛えてるんだ？って、いつ

もからかってやるんだよ」と、孫の話を、目を細めて語ります。

阿部さんは平成十四年から地区の除雪作業も行っています。元々は、地区にあった企業が請け負っていました。企業が撤退した後、地元有志で組合を作り、除雪作業を引継ぎました。「免許も持ったし、除雪しなきゃみんな困るだろうなと思って、組合作ったんだ」それから二十年近いキャリア。道路は、凹凸のない、見事な除雪が施されています。

12 つくる責任
つかう責任

SDGs 目標 12

いろいろな人に支えられて生きています。
人に生かされているのは確か。

阿部さんはもともと北海道生まれ、昭和三十年、二歳半の時に花川沢口地区へ家族で移住しました。「ウチは開拓だったから、親父は朝から晩まで働いた。俺も小学校からは労働力の一人だった」。家は水稲や酪農、冬は井戸掘りをして暮らしていました。子どもの頃から経験が、今の活動に活かされています。現在は同地区の区長を務める阿部さん。町にも言いいたいことは言うとのこと。「区長の中では口うるさい方かも知れないけど、苦労して生きてきたから、半端なことと言われると頭に

←トーチ制作中の阿部さん



来る」。そんな気骨のある人柄から、地域では頼られる存在です。「助けてもらえらるからやれてるんだよ。区長の仕事だつて、副区長や会計さんが支えてくれるからできています。人に生かされてるってことは確かだな」。頼れる人がいるから生きていける。頼られるから生きていこうと思う。支え合いの真髄に触れた気がしました。



自ら補修した作業場の前で語る阿部さん。



手製のテーブルでおもてなし。

11 住み続けられるまちづくりを



SDGs 目標 11

しかま支え合い掲示板

地域の活動情報をお寄せください！
生活支援コーディネーターの菅原が伺います！

こんにちは！色麻町生活支援コーディネーターの菅原一杉です！
皆さんの地区で地域のために活動されている方や地区での活動、お茶飲み会や各種ものづくり等の情報がございましたら、下記の連絡先までご連絡ください。
生活支援コーディネーターの菅原が取材にお伺いし、支え合



色麻町社会福祉協議会
色麻町生活支援コーディネーター
菅原一杉

情報誌にてご紹介させていただきます。
皆さんの地区の活動が、よりよい社会づくりに貢献していきます。ご協力よろしくお願いたします！

EYE'S



●ふれあい食堂 ボランティア募集中●

毎月一回、色麻町農村環境改善センターにて「ふれあい食堂」が開催されています。小学四年生〜中学三年生が対象で、午後四時〜六時半に開室しており、みんなで勉強したり遊んだり、ボランティアによるワークショップに取り組んだりします。帰りには、町内飲食店のお弁当が出ます。
ふれあい食堂では、子どもたちと一緒に遊んだり勉強を見て

いただけるボランティアを募集しています。また、ワークショップをしていただけるボランティアの方も募集しています。高校生や大学生の方も応募可能です。次回は二月十六日(水)開催予定です。

ご関心のある方は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

メールアドレス
QRコード



色麻のコミュニティ紹介

支え合いの祭典 第1回お宝発表会

令和3年11月19日（金）、色麻町生活支援体制整備事業「第1回お宝発表会」が、色麻町農村環境改善センターで開催されました。「きよみず花壇」「笑うっ茶会」「ほりごめファーム」「やってみよう！まちづくりの会」「加藤酒店」の5組に、それぞれの支え合い活動を発表していただきました。また、NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター理事長の池田昌弘さんに基調講演をいただいた他、同法人の木村利浩さん、NHK てれまさむねでお馴染み、TOHOKU360 編集長の安藤歩美さんを審査員にお迎えしました。安藤さんは「このような活動が行われていれば、住民の方はもちろん、移住された方々もきっと安心すると思います。ぜひ続けていってほしいと思います」と話していました。



発表会の様子



参加者全員で記念写真

オレンジカフェ（認知症カフェ）

【オレンジカフェとは】

認知症についてざっくばらんにリラックスして話せる場所です。専門職（地域包括支援センター職員やキャラバンメイトなど）に相談できる時間もありますし、認知症になった方でも参加できます。

どなたでも自由に参加できますので、気軽にお話する時間にしましょう！

【場 所】 かつぱ笑会（役場前・旧タバコ屋）

【開催日時】 毎月 最終水曜日（都合により中止の場合もあります）

【開催時間】 10:00～11:30（途中入退室可）

【参加費】 100円

【内 容】 参加者の皆さんで歓談、専門職による個別相談、認知症介護の情報交換など、その他自由にお楽しみください。

【注意事項】 お互い気持ちよく継続していきたいので、この会で知り得た個人情報には口外しないようにしましょう。

【主催】

・色麻町商工会女性部

代表：吉田るり子

【お問い合わせ】

・色麻町地域包括支援センター 66-1071



しかま支え合い情報誌 vol.5

発行：社会福祉法人色麻町社会福祉協議会

〒981-4122 宮城県加美郡色麻町四竈字杉成 27-2

TEL：0229-65-2260 FAX：0229-66-1713

E-mail：shikama.shakyo@vesta.ocn.ne.jp

URL：<http://www.shakyo.or.jp/hp/287/>

しかま支え合い情報誌は、色麻町生活支援体制整備事業の一環として発行しています。